



平成 26 年 11 月 18 日

自動車局 技術政策課

国連自動車基準調和世界フォーラム第 164 回会合等の結果について

国連自動車基準調和世界フォーラム（WP29）第 164 回会合等の結果概要についてお知らせします。WP29 は、自動車安全・環境基準の国際調和と認証の相互承認を多国間で審議する唯一の場であり（別紙 1）、日本も積極的に参画しています。

- 日程：11 月 10 日（月）～14 日（金）
- 場所：スイス、ジュネーブ
- 参加国・機関数：47 の政府、国際機関、自動車業界団体等
- 今回の WP29 での主な結果

（1）自動運転

日本から、自動運転技術の普及に不可欠な高度ドライバー支援型自動運転や完全自動運転の法規上の扱い等を検討する「自動運転分科会」（別紙 2）（共同議長：日本及び英国）を新たに立ち上げることを提案し、基本合意されました。

（2）国際的な車両型式認証の相互承認制度（IWVTA）（別紙 3）

日本が副議長を務める IWVTA 専門家会議から、IWVTA の実施に必要な手続き等を定めた規則案を提案し、基本合意されました。今後、2016 年の実施に向け、枠組みの詳細が議論される予定です。

（3）1958 年協定の改正

本協定に基づく規則の採択に必要な多数決規定（3 分の 2）の見直しについて、日本、豪州、マレーシア及びロシアから、「3 分の 2」を「5 分の 4」へ引き上げる提案を行いました。これに対し、同協定非加盟国であるインドから支持が寄せられた他、欧州委員会からは、次回の来年 3 月の WP29 までに欧州内の意見を調整するとの説明がありました。この改正により、1958 年協定が、アジア等非欧州地域の立場も反映（※ 1）したよりグローバルなものとなることが期待されます。

※ 1 現行の 1958 年協定では、各基準は、1/3 を超える反対がない限り成立するとされていますが、現在の協定加盟国・地域による最大 50 の票数のうち、EU が 28 票を占めており、欧州の立場が反映されやすい制度となっています。

(4) ゴバーン WP29 議長への叙勲の伝達

11月3日、日本政府は、平成26年秋の外国人叙勲の受章者を発表し、その中で、日本を含む非欧州地域の国際調和活動を積極的に推進してきたベルナール・ゴバーン WP29 議長の旭日中綬章の受章を決定しました(※2)。これを受け、今回の WP29 期間中の11月11日夕刻、ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使公邸において、叙勲伝達式及びレセプションが開催されました。同式典には、WP29に参加する主要国の代表者も出席し、太田国土交通大臣からの祝辞(自動車局次長代読)が述べられました。

なお、このような自動車基準の国際調和活動に貢献された方への叙勲は、はじめてのことです。

※2 ゴバーン氏は、WP29議長職を約30年務め(今回の WP29 で議長職を引退することが決定)、将来的な自動車市場のグローバル化の進展を見据え、WP29の活動の拡大(我が国を含む非欧州国の参加)及び深化(国際基準策定作業の加速)を積極的に推進するとともに、IWVTA等の我が国が主導する自動車の国際基準策定に寄与しました。



一番左：和辻自動車局次長、右から二番目：ゴバーン WP29 議長
一番右：小田部ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使

(別紙1) 国連自動車基準調和世界フォーラム(WP29)の概要

(別紙2) 自動運転の導入を巡る国際的動向

(別紙3) 国際的な車両型式認証の相互承認制度(IWVTA)の概要

【お問い合わせ先】

自動車局 技術政策課 斧田・山村

代表 03-5253-8111 (内線 42254)

直通 03-5253-8591

FAX 03-5253-1639